



日本高等教育学会第13回大会
プログラム
2010



2010年5月29日(土)・30日(日)

関西国際大学

於：尼崎キャンパス

ごあいさつ

この度、関西国際大学尼崎キャンパスにおいて、日本高等教育学会第 13 回大会を開催する運びとなりました。

関西国際大学は 1998 年に短期大学から四年制大学に昇格した際に、学内に「高等教育研究所」を設置いたしました。現在は教育学部の設置とともに教育全般に関する研究活動を行うこととなり、名称を「教育総合研究所」に変更しましたが、開設当初からユニバーサル段階への突入に伴う日本の高等教育の課題をとりあげ、以後高等教育に関する研究プロジェクトを毎年数本実施しております。

私は 1999 年から 2000 年にかけて、文部省（当時）が取り組んでいた「大学における学生生活の充実に関する調査研究会」に出席させていただき、いわゆる「広中レポート」に参画して、“学生主体の大学づくり”の議論に参加したことがあります。

それから 10 年が経過した現在、日本の高等教育はグローバル化や質保証といった大学以外からの様々な要求を受けることが増え、高等教育研究が教育研究の中でさらに重要な位置を占めるに至っています。

大学教育は小学校、中学校、高等学校に続く一続きの教育機関として位置づけられ、そこでの授業、学習支援、学生支援と大学教員また職員の資質向上が重要な研究テーマとなって久しい状況です。高等教育の問題は必然的に中等教育以前の教育との接続やそこでの学力問題を頭わにすることとなり、また青少年にとっての最後の学校教育という位置づけから、産業や社会に向けた人材育成との関係も重要な研究課題となってきました。言うまでもなく国公立大学や私立大学の経営も、ますます喫緊の研究課題、政策課題となっています。

グローバル人材の養成が求められる中で、ユニバーサル化した日本の高等教育がどのような役割を果たし得るのか、学士という学位を授与する大学は社会に向けてどのような力を学生につけて送り出すべきか、学生との格闘ともいえる日々の中で、このような大きな課題を意識しながら教育と研究に真摯に取り組む姿が、日本の大学教員や職員の大半の姿ではないかと考えます。

日本高等教育学会の大会が、ユニバーサル化の象徴のような私たちの大学で開催できますことを心から喜ばしく思います。

第 13 回大会が実り多いものになりますよう、精一杯運営に取り組みます。皆様のご理解とご協力をどうかよろしくお願い申し上げます。

日本高等教育学会 第 13 回大会実行委員会 委員長 濱名 陽子

大会日程

5月28日(金)

18:00 ~ 19:00 理事会 (10階大会議室)

5月29日(土)

9:15 ~ 受付 (3階入口)

10:00 ~ 12:00 自由研究発表 I

12:00 ~ 13:00 課題研究打ち合わせ (10階小会議室、役員室)

13:00 ~ 15:00 自由研究発表 II

15:10 ~ 17:40 課題研究

課題研究 I

「職業教育の質保証：非大学型セクターからのアプローチ」 (507教室)

課題研究 II

「教育改善にむけてのデータの開発：IRと学生調査」 (508教室)

18:00 ~ 20:00 懇親会 (学内1階エントランスホール)

5月30日(日)

9:00 ~ 受付 (3階入口)

9:30 ~ 12:00 自由研究発表 III

12:00 ~ 13:00 公開シンポジウム打ち合わせ (10階小会議室)

13:00 ~ 13:30 総会 (301教室)

13:40 ~ 16:20 公開シンポジウム (301教室)

「高等教育の多様化と質保証：設置審査・認証評価・参照基準」

大会参加のご案内

参加費

【大会参加費】

正会員・臨時会員 5,000 円

【懇親会費】 5,000 円

会員でない方も臨時会員として参加できます。
シンポジウムは無料で一般に公開します。

今大会では大会参加費および懇親会費の事前振込をお願いしております。大会当日の受付もいたしますが、事前振込をご利用の方には、当日の受付にて30日（日）の昼食券(弁当)を無料でお渡しします。

大会案内に同封の郵便振替用紙にて、所定の事項をご記入の上、参加費を5月7日（金）までにお振り込みください。それ以降は、当日受付にてお支払いください。

※ 事務処理の都合上、振替用紙はお申込みお一人につき1枚をご使用ください。

※ 振り込み手数料は、各自でご負担ください。

学会年会費

大会会場では、学会年会費の納入はできませんのでご了承ください。

入場

会場及び懇親会会場への入場は、必ずネームプレートをつけて下さい。原則としてネームプレートのない方は入場できません。なお、ネームプレートはお帰りの際に受付にお返しください。

呼び出し

会場での呼び出しは行いませんのでご了承ください。

欠席の場合

発表者が欠席する場合は、わかり次第、できるだけ早く大会準備委員会にE-mailまたはFAXにてお知らせください。

資料のコピー

大会準備委員会によるコピーサービスは行いません。自由研究発表用の配付資料等は各自が必要な部数をご用意ください。

昼食

29日（土）、30日（日）とも学内の食堂が営業しています。1階のコンビニエンスストアは、29日（土）のみ営業しています。

会員控室

大会期間中は3階303教室が大会本部、5階516模擬教室が会員控室になります。会員控室にはお茶を用意しています。書籍等の展示・販売コーナーは、5階505教室と506教室です。

クローク

ありません。貴重品は各自管理してください。

懇親会

29日（土）18:00～20:00、学内1階エントランスホールにて懇親会を開催します。

喫煙場所

建物内は全面禁煙になっています。喫煙は屋外の決められた場所でお願ひします。

発表者へのお願い

●発表および質疑応答時間

発表人数	発表時間	質疑応答時間
1人	15分	5分
2人	30分	10分
3人以上	40分	10分

※全ての発表について、以下の要領で司会者が目安をお知らせします。

- 【1鈴】発表終了5分前
- 【2鈴】発表終了時
- 【3鈴】質疑応答終了時

●発表用機械器具

当方では、DOS-V対応のプロジェクターならびに16ピンコネクター・ケーブル、パソコン（Windows XP相当）を用意します。こちらで準備するパソコンを利用される場合は、Windows Office2003形式（.ppt.doc）およびadobe acrobat（.pdf）、rich text format（.rtf）であれば、ほぼ確実に対応可能です。接続できるメディアは、電気の供給があまりいらないUSB接続のものをご用意ください。それ以外の機器をご利用希望の場合には、御持参いただいた上で発表セッション開始前に動作確認をお願いいたします。なお、必ずしも対応できない場合もあることを予めご了承ください。Macintoshの場合は、予め、機材をご持参ください。

司会者へのお願い

●発表および質疑応答時間

予定時間を超過しないように時間管理をお願いします。

●総括討論

各セッションの最後に総括討論の時間を設けておりますが、利用できる時間はそれぞれの部会によって異なっています。この時間の活用方法は司会者に一任しておりますので、臨機応変に対応していただきますようお願い申し上げます。

会場へのアクセス

<新幹線>新大阪駅から

JR「新大阪」駅から「尼崎」駅下車（約11分）

<新幹線>新神戸駅から

神戸市営地下鉄で「三宮」駅へ（約2分）→[徒歩4分]→JR神戸線「三ノ宮」駅から新快速で「尼崎」駅下車（約15分）

<航空機>大阪国際空港（伊丹空港）から

- ・ JR 尼崎駅前(南口)行きのリムジンバスで約25分

大阪空港南ターミナル(13番のりば)											
8:15	9:20	10:50	12:10	13:20	14:45	15:45	17:15	18:30	19:45	20:35	21:15
大阪空港北ターミナル(3番のりば)											
8:20	9:25	10:55	12:15	13:25	14:50	15:50	17:20	18:35	19:50	20:40	21:20

- ・ 大阪モノレール「大阪空港」駅から「蛍池」駅へ（約3分）→阪急宝塚線に乗り換え「川西能勢口」駅へ（約8分）→[徒歩7分]→JR福知山線に乗り換え「川西池田」駅から「尼崎」駅下車（約14分）
- ・ 大阪モノレール「大阪空港」駅から「蛍池」駅へ（約3分）→阪急宝塚線に乗り換え「梅田」駅へ（約15分）→[徒歩5分]→JR東海道・山陽本線に乗り換え「大阪」駅から「尼崎」駅下車（約5分）
- ・ 伊丹市バスで JR「伊丹」駅へ（約25分）→JR福知山線に乗り換え快速で「尼崎」駅下車（約7分）
【伊丹市バス時刻表 土・日ダイヤ】

7	19	39	55(*1)
8	19	39	55(*1)
9	01	21	41
10	06	36	55(*1)
11	06	36	55(*1)
12	06	36	55(*1)
13	06	39	55(*1)
14	09	39	55(*1)
15	09	39	55(*1)
16	11	41	55(*1)
17	11	41	55(*1)
18	11	41	55(*1)
19	06	24	44
20	00(*1)	04	29
21	00(*1)	09	34

(*1)はJR伊丹直行便

<航空機>関西国際空港から

- ・ リムジンバス4番のりばから JR 尼崎駅前行き（約65分）

6:30 7:05 7:35 8:05 8:35 9:05 9:35 10:05 10:35 11:05 11:35 12:35 13:35 14:05 14:35 15:05 15:35
16:05 16:35 17:05 17:35 18:05 18:35 19:05 19:35 20:05 20:30 20:55 21:20 21:45 22:10 22:35

- ・ JR「関西空港」駅から関空快速で「大阪」駅へ（約60分）→JR東海道・山陽本線に乗り換え「尼崎」駅下車（約5分）

<航空機>神戸空港から

- ・ ポートライナー「神戸空港」駅から「三宮」駅へ（約18分）→JR神戸線に乗り換え「三ノ宮」駅から新快速で「尼崎」駅下車（約15分）

※バスダイヤにつきましては2009年7月末現在のものです。

※新幹線をご利用の場合は「新神戸」駅よりも「新大阪」駅で下車される方が便利です。
 また、「神戸空港」からよりも「大阪国際空港（伊丹空港）」からの方が便利です。

<車>

- 本学には駐車場はありません。近隣に駐車場（いずれも有料）があります。
- 「タイムズAMAGASAKI CROSSWALK」と「タイムズJR尼崎駅北第2」については、<http://times-info.net/map/>にてご確認ください。
- このほか、COCOEにも駐車場があります。詳しくは、<http://www.cocoe.info/access/index.html>にてご確認ください。



J R 尼 崎	← JR神戸線 新快速で 約5分 →	大阪（梅田）
	← JR神戸線 新快速で 約15分 →	三宮
	← JR神戸・京都線 新快速で 約36分 →	京都
	← JR宝塚線 快速で 約10分 →	宝塚
	← JR東西線 約17分 →	京橋
	← JRおおさか東経由 普通快速で 約65分 →	奈良



宿泊先のご案内

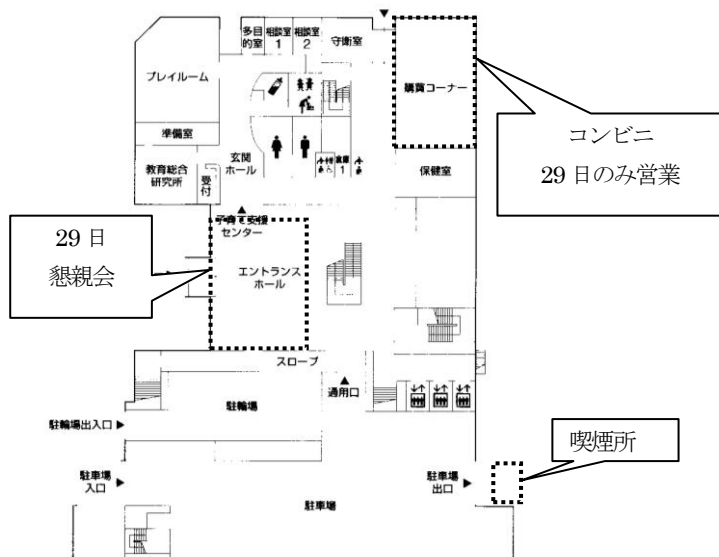
宿泊は各自でお申し込みください。ご参考までに主要駅近くのホテルをご紹介します。
(料金は、曜日・季節によって変わる場合があります)

最寄駅	ホテル名	連絡先	アクセス	料金
JR 尼崎	ホップイン・アミニング	06-6491-0002 http://www.hopinn.com	JR 尼崎駅より 徒歩1分	S12,600 円～
阪神 尼崎	ホテルニュー アルカイック	06-6488-7777 http://www.miyakohotels.ne.jp/archaic	阪神尼崎駅より 徒歩6分	S15,015 円～
JR 新大阪	チサンホテル 新大阪	06-6302-5571 http://www.solarehotels.com/chisun/hotel-shin-osaka/	JR 新大阪駅正 面口より 徒歩5分	S8,300 円～
	ニューオーサカ ホテル	06-6947-8070 http://newosaka.hotwire.jp	JR 新大阪駅正 面口より 徒歩3分	S8,085 円～
	ホテル新大阪	06-6322-8800 http://hso.hotwire.jp	JR 新大阪駅 東口より 徒歩1分	S7,700 円～
	新大阪ワシントン ホテルプラザ	06-6303-8111 http://shinosaka.wh-at.com	JR 新大阪駅正 面口より 徒歩3分	S7,500 円～
	新大阪ステーション ホテル	06-6325-0011 http://www.st-hotel.jp	JR 新大阪駅 東口より 徒歩4分	S6,720 円～
JR 大阪	ホテルグランヴィア 大阪	06-6344-1235 http://www.granvia-osaka.jp	JR 大阪駅構内	S16,747 円～
	大阪第一ホテル	06-6341-4411 http://www.osakadaichi.co.jp	JR 大阪駅中央 口より 徒歩3分	S15,015 円～
	ハートンホテル西梅田	06-6342-1111 http://www.hearton.co.jp/nishiumeda	JR 大阪駅桜橋 口より徒歩3分	S10,600 円～
	大阪東急イン	06-6315-0109 http://www.osaka-i.tokyuhotels.co.jp	JR 大阪駅御堂 筋口より 徒歩10分	S9,200 円～
	梅田 OS ホテル	06-6312-1271 http://www.oshotel.com	JR 大阪駅南口 より 徒歩5分	S8,300 円～
	ホテルグリーンプラザ 大阪	06-6374-1515 http://www.hgpo.co.jp	JR 大阪駅御堂 筋口より 徒歩7分	S7,900 円～
	大阪弥生会館	06-6373-1841 http://www.jrwelnet.co.jp/hotels/yayoi_kaikan/osaka	JR 大阪駅中央 北口より 徒歩5分	S7,200 円～
JR 新福島	ホテルNBC(中之島セ ンタービル)	06-6443-2255 http://www.hotel-ncb.co.jp/index.htm	JR 新福島駅よ り徒歩20分	S6,500 円～
JR 北 新地	ホテルビスタ プレミ オ堂島	06-6347-8777 http://www.hotel-vista.jp/dojima/	JR 北新地駅よ り徒歩5分	S9,500 円～
JR 天 満宮	トーコーシティホテル 梅田	06-6363-1201 http://www.tokocityhotel.co.jp/umeda/	JR 天満宮駅よ り徒歩1分	S8,400 円～

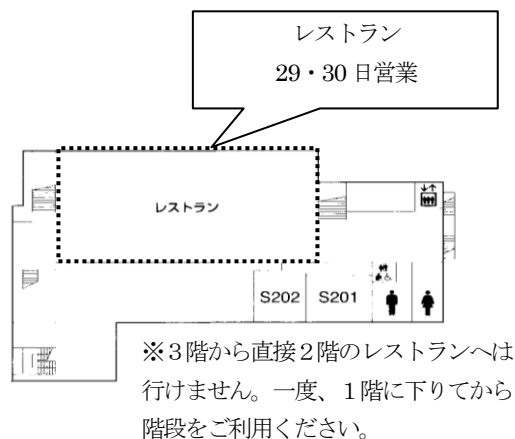
JR 大阪城北詰	シャトーテル大手前	06-6354-1351 http://www4.ocn.ne.jp/~ootemae/	JR 大阪城北詰 駅より徒歩5分	S5,900 円～
JR 京橋	ホテル京阪 京橋	06-6353-0321 http://www.hotelkeihan-kb.com/index.php	JR 京橋駅西改 札口より徒歩 3分	S10,500 円～
	大阪シティホテル京橋	06-6353-1111 http://www.ochk.co.jp/	JR 京橋駅北改 札口、西改札口 より徒歩5分	S7,000 円～
JR 三宮	神戸東急イン	078-291-0109 http://www.kobe-i.tokyuhotels.co.jp	JR 三宮駅中央 口より徒歩3分	S11,000 円～
	三宮ターミナル ホテル	078-291-0001 http://www.sth-hotel.co.jp	JR 三宮駅中央 口直結	S10,040 円～
	ダイワロイネットホテ ル神戸三宮	078-291-4055 http://www.daiwaroynet.jp/kobesannomiya/index.html	JR 三ノ宮駅東 口より徒歩 約5分	S10,000 円～
	アパホテル神戸三宮	078-272-2111 http://www.apahotel.com/hotel/kansai/12_kobesannomiya/index.html	JR 三宮駅東出 口より徒歩3分	S8,500 円～
	神戸サンサイドホテル	078-232-3331 http://www.sanside.co.jp	JR 三宮駅中央 口より 徒歩5分	S5,900 円～
	東横イン 神戸三ノ宮 2	078-232-1045 http://www.toyoko-inn.com/hotel/00123/index.html	JR 三ノ宮駅東 口より徒歩 約 2分	S5,700 円～
	スーパーホテル神戸	078-261-9000 http://www.superhotel.co.jp/s_hotels/kobe/kobe.html	JR 三宮駅中央 (北) 出口より 徒歩約7分	S5,460 円～
	ホテルエリアワン神戸	078-391-1111 http://www.hotel-areaone.com/kobe	JR 三宮駅より 徒歩5分	S5,000 円～
JR 新神戸	クラウンプラザ神戸	078-291-1121 http://www.cpkobe.com	山陽新幹線新 神戸駅直結	S15,015 円～
	ホリデイ・イン エクスプレス新神戸	078-222-1212 http://www.ichotelsgroup.com/h/d/6c/490/ja/hd/kobja	山陽新幹線新 神戸駅より 徒歩5分	S8,316 円～
	グリーンヒル ホテル神戸	078-222-0909 http://www.greenhillhotel.com	山陽新幹線新 神戸駅より 徒歩7分	S7,350 円～
	新神戸サンホテル	078-272-1080 http://sunhotel.royal-corp.jp	山陽新幹線新 神戸駅より 徒歩10分	S5,800 円～
JR 宝塚	宝塚ワシントンホテル	0797-87-1771 http://www.takarazuka-wh.com/	JR 宝塚駅より 徒歩3分	S7,969 円～
阪急 宝塚 南口	宝塚ホテル	0797-87-1151 http://www.hankyu-hotel.com/cgi-bin2/cms2/index.cgi?hid=26takarazukah	阪急宝塚駅南 口正面	S11,550 円～
JR 伊丹	伊丹シティホテル	072-777-1111 http://www.itamicity-h.com/	JR 伊丹駅より 徒歩7分	S12,500 円～

大会会場案内図

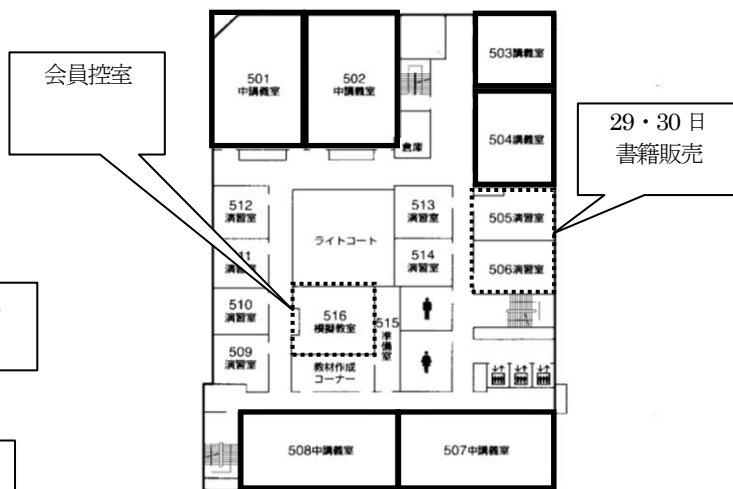
1F



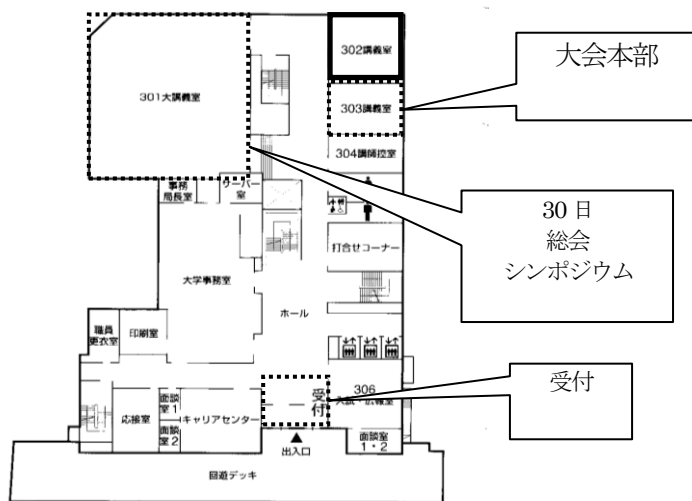
2F



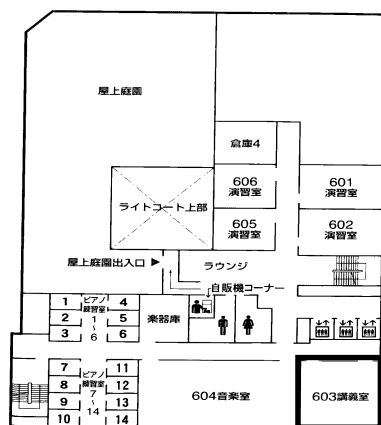
5F



3F



6F



大会会場一覧

5月29日(土)

	9:15～	
3階入口	受付	
	10:00～12:00	
	自由研究発表Ⅰ	
501教室	I-1部会	学生生活1
502教室	I-2部会	経営と財務
503教室	I-3部会	学生調査
508教室	I-4部会	大学教員
507教室	I-5部会	FD
504教室	I-6部会	国際化
302教室	I-7部会	大学院教育1
603教室	I-8部会	学生生活と学習環境
	13:00～15:00	
	自由研究発表Ⅱ	
501教室	II-1部会	学生生活2
503教室	II-2部会	大学進学
504教室	II-3部会	大学職員
502教室	II-4部会	授業料・奨学金
507教室	II-5部会	学習成果1
508教室	II-6部会	大学評価
302教室	II-7部会	社会と大学
603教室	II-8部会	教育改善
	15:10～17:40	
	課題研究	
507教室	課題研究Ⅰ	職業教育の質保証：非大 学型セクターからのアプローチ
508教室	課題研究Ⅱ	教育改善にむけてのデー タの開発：IRと学生調査
	18:00～20:00	
	懇親会	
学内1階エントランスホール		

5月30日(日)

	9:00～	
3階入口	受付	
	9:30～12:00	
	自由研究発表Ⅲ	
501教室	III-1部会	学習成果2
502教室	III-2部会	質保証
503教室	III-3部会	国立大学法人
504教室	III-4部会	大学院教育2
507教室	III-5部会	学位
508教室	III-6部会	キャリア教育
302教室	III-7部会	大学経営
	13:00～13:30	
	総会	
301教室		
	13:40～16:20	
	公開シンポジウム	
301教室		高等教育の多様化と質保証：設置 審査・認証評価・参照基準

学生生活 1

司会：川嶋太津夫（神戸大学） 近田 政博（名古屋大学）

10:00-10:50 学生支援が直面する新たな問題

沖 清豪（早稲田大学） 小貫 有紀子（九州大学） ○川島 啓二（国立教育政策研究所）
○串本 剛（東北大学） 小島 佐恵子（北里大学） ○田中 岳（九州大学）
○秦 敬治（愛媛大学） 藤江 陽子（日本学生支援機構） 望月 由起（横浜国立大学）

10:50-11:40 継続学生調査の安定性と可変性 —学生像の多様性と共通性は何か—

○山田 礼子（同志社大学） ○杉谷 祐美子（青山学院大学） ○江原 昭博（同志社大学）
沖 清豪（早稲田大学） 森 利枝（大学評価・学位授与機構） 木村 拓也（長崎大学）
安野 舞子（横浜国立大学）

11:40-12:00 総括討論

経営と財務

司会：浦田 広朗（名城大学） 山本 清（東京大学）

10:00-10:20 大学における「卒業生サービス」の現状と課題 —国立大学の状況を中心として—

○大川 一毅（岩手大学） 西出 順郎（岩手県立大学） 山下 泰弘（山形大学）

10:20-10:40 高等教育機関の運営における会計情報の意義

○古市 雄一朗（福山大学）

10:40-11:00 戦前期私立大学における寄附金募集と大学経営 —慶應義塾大学と早稲田大学の事例から—

○戸村 理（東京大学大学院）

11:00-11:20 高等教育における寄付の制度的背景 —米国連邦税法の変遷に着目して—

○福井 文威（東京大学大学院）

11:20-11:40 ペイアウトルールに基づいた資産運用は可能か —日本における私立大学への適用可能性について—

○川崎 成一（東京大学大学院）

11:40-12:00 総括討論

I-3部会 503教室

学生調査

司会：森 利枝 (大学評価・学位授与機構) 吉本 圭一 (九州大学)

10:00-10:20 非大学型高等教育機関「短期大学」のカレッジ・インパクト、職業的レリバンスの地域間比較
—職業・ライフコース選択・採用基準の側面から—

○三好 登 (広島大学大学院)

10:20-10:40 大学生の教育評価 —JCSS2009 よりジェンダー較差を中心に—

○相原 総一郎 (大阪薫英女子短期大学)

10:40-11:00 地方大学における学生の学習・課外活動と進路意識の形成

○藤本 佳奈 (広島大学大学院)

11:00-11:20 『全国大学生調査』からみたリーディング大学の学生の学習行動

○劉 文君 (東京大学) 小林 雅之 (東京大学)

11:20-12:00 総括討論

I-4部会 508教室

大学教員

司会：井下 理 (慶應義塾大学) 大塚 雄作 (京都大学)

10:00-10:20 大学教員の需給アンバランス —今後10年間の推計結果をもとに—

○潮木 守一 (桜美林大学)

10:20-10:40 女性研究者向けメンタリング・プログラムの現状と課題

○渡辺 かよ子 (愛知淑徳大学)

10:40-11:00 日本の外国人大学教員

○米澤 彰純 (東北大学) 石田 賢示 (東北大学大学院)

11:00-11:20 大学教員の国際比較、ジェンダーを中心に —CAP調査(2007年)による日本の特徴—

有本 章 (比治山大学) ○木本 尚美 (県立広島大学)

11:20-11:40 米国研究大学における教員組織

○阿曾沼 明裕 (名古屋大学)

11:40-12:00 総括討論

I-5部会 507教室

F D

司会：夏目 達也(名古屋大学) 加藤 かおり(新潟大学)

10:00-10:20 全学教育改革に関する学生アンケート結果 —北海道大学における3年間の推移—

○山田 邦雅(北海道大学) 細川 敏幸(北海道大学) 西森 敏之(北海道大学)
*安藤 厚(非会員：北海道大学)

10:20-10:40 連携して取り組むFDの課題

○深野 政之(京都FD開発推進センター)

10:40-11:00 オックスフォード大学におけるチューター研修プログラム —全学としてのシステム化への動き—

○竹腰 千絵(京都大学大学院)

11:00-11:20 若手FD担当者の業務を通じたキャリア展望

○田口 真奈(京都大学) *半澤 礼之(非会員：京都大学) *村上 正行(非会員：京都外国語大学)
*杉原 真晃(非会員：山形大学)

11:20-11:40 新任教員を対象とした実践的FDプログラムの実施と評価

○井上 史子(立命館大学) 沖 裕貴(立命館大学) 江原 武一(立命館大学)

11:40-12:00 総括討論

I-6部会 504教室

国際化

司会：舘 昭(桜美林大学) 大塚 豊(広島大学)

10:00-10:20 韓国の留学生政策と日本との関係

○長島(湯山) 万里子(東京大学大学院、洗足こども短期大学)

10:20-10:40 大学間交流政策における地域の利益と各国の利益の関係 —アセアンの事例—

○上別府 隆男(東京女学館大学)

10:40-11:00 「国際的にGPAとして通用する仕組み」をめぐって —国際比較調査の結果から—

○半田 智久(お茶の水女子大学)

11:00-11:20 東アジアの研究大学における国際学生交流政策

○張 燕(東京大学大学院)

11:20-11:40 研究型大学の国際化 —学術追求と国際化推進の接点と狭間(東京大学を事例として)—

○船守 美穂(東京大学)

11:40-12:00 総括討論

大学院教育 1

司会：小笠原 正明（筑波大学） 加藤 毅（筑波大学）

10:00-10:20 公募型大学院教育プログラムの分析

○柴山 盛生（国立情報学研究所）

10:20-10:40 大学院における共通基盤教育の補完的有用性

○岡本 秀穂（九州大学）

**10:40-11:00 高等教育論における「日本の大学・大学院の環境教育」研究レビューと今後の展望
—旧制帝大の大学院サステナビリティ学教育プログラムの調査から—**

○内山 弘美（茨城大学）

11:00-12:00 総括討論

学生生活と学習環境

司会：中井 俊樹（名古屋大学） 小林 雅之（東京大学）

10:00-10:20 学期制度の現状と課題 —教育の質保証と学生生活の視点から—

○中村 章二（愛知教育大学）

10:20-11:00 北米における学習空間の変容 —ラーニングコモンズを事例として—

○呑海 沙織（筑波大学） *歳森 敦（非会員：筑波大学） ○溝上 智恵子（筑波大学）

11:00-11:20 アメリカ大学図書館協会の基準に学ぶ、職員と成果の評価による大学図書館改善策

○梅澤 貴典（中央大学）

11:20-11:40 副専攻制度の導入に見る大学教育改革 —国立大学への訪問調査に基づく考察—

○田中 正弘（島根大学）

11:40-12:00 総括討論

Ⅱ-1部会 501教室

学生生活2

司会：橋本 鉦市（東京大学） 岩田 弘三（武蔵野大学）

13:00-13:50 学生支援の現状と課題 —課題領域別の分析に基づいて—

- | | | |
|--------------|------------------|------------------|
| ○沖 清豪（早稲田大学） | ○小貫 有紀子（九州大学） | 川島 啓二（国立教育政策研究所） |
| 串本 剛（東北大学） | ○小島 佐恵子（北里大学） | 田中 岳（九州大学） |
| 秦 敬治（愛媛大学） | ○藤江 陽子（日本学生支援機構） | ○望月 由起（横浜国立大学） |

13:50-14:30 大学生のマナーに関する実証的研究

- | | |
|--------------|--------------|
| ○加野 芳正（香川大学） | ○西本 佳代（香川大学） |
|--------------|--------------|

14:30-15:00 総括討論

Ⅱ-2部会 503教室

大学進学

司会：荒井 克弘（大学入試センター） 間瀬 泰尚（神戸親和女子大学）

13:00-13:40 公立・私立高校の進学格差の変遷

- | | |
|---------------------|---------------|
| ○青 幹大（愛知県立春日井東高等学校） | ○村田 治（関西学院大学） |
|---------------------|---------------|

13:40-14:00 教育資本の地域間移動 —地方から都市部への進学・就職に着目して—

- | |
|-----------------|
| ○平木 耕平（東京大学大学院） |
|-----------------|

14:00-14:20 大学入学者選抜における調査書利用の考え方(2) —grade inflationの問題を中心に—

- | | |
|--------------|------------------|
| ○倉元 直樹（東北大学） | *金澤 悠介（非会員：立教大学） |
|--------------|------------------|

14:20-15:00 総括討論

Ⅱ-3部会 504教室

大学職員

司会者：大場 淳（広島大学） 山本 眞一（広島大学）

**13:00-13:20 大学職員の専門性確立に果たす非連続キャリアパスの有効性
—競争のない大学、競争のない教員、競争のない職員—**

○各務 正（順天堂大学）

13:20-13:40 アメリカにおける大学管理運営職の研修プログラム

○高野 篤子（秋田大学）

13:40-14:20 スタッフ・ディベロップメントの現状と課題

○伊東 陽子（国立大学財務・経営センター） ○加藤 毅（筑波大学）

14:20-14:40 国立大学若手職員の提案型研修プログラム

○高橋 真義（桜美林大学） 鳥居 聖（桜美林大学）
*柳生 修二（非会員：総合研究大学院大学） 米田 敬子（文教大学） *小田 雅記（非会員：山口大学）
*郷原 正好（非会員：信州大学） *宮本 大輔（非会員：大分大学）

14:40-15:00 総括討論

Ⅱ-4部会 502教室

授業料・奨学金

司会：丸山 文裕（国立大学財務・経営センター） 米澤 彰純（東北大学）

13:00-13:20 中国における学生援助拡充の財源確保策

○王 傑（お茶の水女子大学）

13:20-13:40 アメリカの大学と金融危機 —授業料、学費援助に着目して—

○長野 公則（東京大学大学院）

13:40-14:00 高等教育機関授業料の戦前と戦後 —分布と変動—

○伊藤 彰浩（名古屋大学）

14:00-14:20 中国における学生への経済支援の配分と効果 —地方高等教育機関の実態調査から—

○王 帥（東京大学大学院）

14:20-14:40 授業料・奨学金の5カ国比較 —日米英豪中調査から—

○小林 雅之（東京大学）

14:40-15:00 総括討論

学習成果1

司会：中村 高康 (大阪大学) 沖 裕貴 (立命館大学)

13:00-13:50 大学の質保証システムの類型 (マス化×自律性) —学習成果アセスメントの位置づけにむけて—

○深堀 聡子 (国立教育政策研究所) ○南部 広孝 (京都大学) ○石川 裕之 (京都大学)
○森 利枝 (大学評価・学位授与機構)

13:50-14:30 大学生の学習成果に関する評価手法の探索的検討 —質問紙を用いた評価の可能性—

○吉原 恵子 (兵庫大学) ○白川 優治 (千葉大学) 杉谷 祐美子 (青山学院大学)
香川 順子 (徳島大学) 小島 佐恵子 (北里大学)

14:30-15:00 総括討論

大学評価

司会：羽田 貴史 (東北大学) 前田 早苗 (千葉大学)

13:00-13:20 大学評価と運営費交付金の現状と分析

○田中 秀明 (一橋大学)

13:20-13:40 我が国の高等教育機関における組織的な研究マネジメントの進展

○畠田 敏行 (茨城大学) 奥居 正樹 (広島大学大学院) 林 隆之 (大学評価・学位授与機構)

13:40-14:00 国立大学法人の法人化前後評価結果の比較分析

○張 慧嫻 (早稲田大学大学院)

14:00-14:20 韓国における新たな大学評価体制について —情報公開と自己評価の義務化を中心に—

○金 性希 (大学評価・学位授与機構)

14:20-14:40 国立大学法人評価における制度目的の多重性と評価方法の受容性

○林 隆之 (大学評価・学位授与機構) *齋藤 聖子 (非会員：大学評価・学位授与機構)
*田中 弥生 (非会員：大学評価・学位授与機構)

14:40-15:00 総括討論

社会と大学

司会：塚原 修一（国立教育政策研究所） 江原 武一（立命館大学）

13:00-13:20 アメリカにおける理数教育改革のアクター

○吉永 契一郎（東京農工大学）

13:20-14:00 大卒・大学院卒者の賃金関数分析

○藤村 正司（新潟大学） ○島 一則（広島大学）

14:00-14:20 留学生受入れによる地域活性化 —社会・経済的効果と課題分析にむけての枠組み—

○佐藤 由利子（東京工業大学）

**14:20-14:40 産業界のイノベーション要求の方向性と大学教育の位置づけ
—2000年以降の経済団体の提言分析を踏まえた考察—**

○飯吉 弘子（大阪市立大学）

14:40-15:00 総括討論

教育改善

司会：吉田 文（早稲田大学） 有本 章（比治山大学）

13:00-13:20 地域の教育力を活かす医学教育 —地域と大学との連携—

○福島 統（東京慈恵会医科大学）

13:20-13:40 管理栄養士・栄養士養成施設の教育課程編成基準及び教員要件の変遷とその背景

○鈴木 道子（尚絅学院大学）

13:40-14:00 地方自治体による学力調査の展開過程における大学の教育研究の役割

○村山 詩帆（佐賀大学）

**14:00-14:20 大学教科書に見られる知識の取捨選択と有効期間に関する実証研究
—専門分野内の比較の観点からの分析—**

○原田 健太郎（広島大学）

14:20-14:40 医療系大学生における学術情報の利用実態と初年次教育のあり方

○富田 美加（茨城県立医療大学） 水上 昌文（茨城県立医療大学）
*阿部 慎司（非会員：茨城県立医療大学） *馬場 健（非会員：茨城県立医療大学）
*加納 尚美（非会員：茨城県立医療大学） 小山 哲夫（茨城県立医療大学）

14:40-15:00 総括討論

Ⅲ-1部会 501教室

学習成果2

司会：田中 義郎（桜美林大学） 大森 不二雄（熊本大学）

9:30-9:50 アメリカ州立大学における新たなアカウンタビリティの取組
—ボランティア・システム・オブ・アカウンタビリティの考察—

○山崎 慎一（桜美林大学大学院）

9:50-10:30 カリフォルニア州の大学における教育成果重視型評価システムの現状と課題
—西部地区基準協会のアクレディテーションへの対応の視点から—

○前田 早苗（千葉大学） ○工藤 潤（大学基準協会）

10:30-10:50 学生の学習目標と大学が提供する教育 —国立大学理系学部を中心とした大学間比較—

○藤埴 智一（宮崎大学）

10:50-11:10 未完成のトランスフォーメーション —ポスト大衆段階における中国高等教育の人材養成と学生成長—

○鮑 威（中国北京大学教育学院）

11:10-11:30 米国リベラルエデュケーションの現状に関する概念整理 —大学団体を中心に—

○福留 東土（広島大学）

11:30-12:00 総括討論

Ⅲ-2部会 502教室

質保証

司会：沖 清豪（早稲田大学） 米谷 淳（神戸大学）

9:30-10:10 米・豪における大学の学習成果測定に関する考察 —意思決定支援機能としてのIRに注目して—

○鳥居 朋子（立命館大学） ○杉本 和弘（鹿児島大学）

10:10-10:50 大学における内部質保証システムの構築に関する現状と課題 —立命館大学の事例を手がかりに—

○宮浦 崇（立命館大学） ○山田 勉（立命館大学） 鳥居 朋子（立命館大学）

*青山 佳世（非会員：立命館大学）

10:50-11:40 オランダの大学におけるIRの役割 —内部質保証への貢献—

○小湊 卓夫（九州大学） ○佐藤 仁（福岡大学） ○森 雅生（九州大学）

○高田 英一（九州大学）

11:40-12:00 総括討論

Ⅲ-3部会 503教室

国立大学法人

司会：鳥居 聖 (桜美林大学) 濱中 義隆 (大学評価・学位授与機構)

9:30-10:10 日本の国公立大学における政府財政措置の根拠と変遷

○水田 健輔 (国立大学財務・経営センター) ○城多 努 (広島市立大学)
* 斉藤 徹史 (非会員：総合研究開発機構)

10:10-10:50 国立大学法人の財務経営の実態と課題

○山本 清 (東京大学) ○丸山 文裕 (国立大学財務・経営センター)
水田 健輔 (国立大学財務・経営センター)

10:50-11:10 国立大学法人化前後における大学経営の取り組み —日本・台湾における大学教員評価を中心に—

○楊 武勳 (台湾・国立暨南国際大学)

11:10-12:00 総括討論

Ⅲ-4部会 504教室

大学院教育2

司会：山田 礼子 (同志社大学) 阿曾沼 明裕 (名古屋大学)

9:30-9:50 政策系大学院の日本の特質 —「総合政策」型大学院の理念と教育課程—

○長島 弥史郎 (財団法人日本開発構想研究所)

9:50-10:10 海外公共政策系大学院の現状と課題について —米国およびカナダを中心に—

○西出 順郎 (岩手県立大学) 西出 優子 (東北大学)

10:10-10:30 韓国における専門職養成システムの変容

—「医学専門大学院」と「法学専門大学院」の創設を中心に—

○朴 炫貞 (東京大学大学院)

10:30-10:50 教職大学院の課題

○橋本 健夫 (長崎大学) 川越 明日香 (広島大学大学院)

10:50-11:30 米国公共政策大学院の質保証システムの新動向と課題

○早田 幸政 (大阪大学) ○堀井 祐介 (金沢大学)

11:30-12:00 総括討論

Ⅲ-5部会 507教室

学位

司会：伊藤 彰浩（名古屋大学） 山内 乾史（神戸大学）

9:30-9:50 欧州高等教育質保証機関登録機構（EQAR）の現状と課題

○大佐古 紀雄（育英短期大学）

9:50-10:10 ドイツにおける近代大学理念の形成過程の研究

○金子 勉（京都大学）

10:10-11:00 ポローニャプロセスの浸透状況に関する国際比較

○山本 眞一（広島大学）

○大場 淳（広島大学）

秦 由美子（広島大学）

堀田 泰司（広島大学）

田中 正弘（島根大学）

○廣内 大介（広島大学大学院）

○村澤 昌崇（広島大学）

11:00-11:20 ポローニャプロセスが国際的スキル分散に及ぼすインパクト —教育経済学理論による論証の試み—

○松塚 ゆかり（一橋大学）

11:20-12:00 総括討論

Ⅲ-6部会 508教室

キャリア教育

司会：小杉 礼子（労働政策研究・研修機構） 小方 直幸（広島大学）

9:30-9:50 採用される人財像を【見える化】するキャリアカウンセラーの質問力の研究

—グローバル時代に向けて学生個人のパフォーマンスを最大化するために—

○野口 和枝（早稲田大学）

9:50-10:40 短期大学の学生調査 —キャリア教育・職業教育の探究—

○吉本 圭一（九州大学）

安部 恵美子（長崎短期大学）

○小嶋 栄子（長崎短期大学）

○末松 泰子（東海大学福岡短期大学） 吉武 利和（香蘭女子短期大学） *河野 睦美（非会員：長崎短期大学）

10:40-11:30 職業キャリアと大学教育 —職業人と大学生の認知構造比較によるアプローチ—

○金子 元久（国立大学財務・経営センター）

○両角 亜希子（東京大学）

○谷村 英洋（東京大学大学院）

○山岸 直司（東京大学大学院）

11:30-12:00 総括討論

大学経営

司会：山崎 博敏（広島大学） 田中 敬文（東京学芸大学）

9:30-9:50 DEAによる私立大学の効率性評価

○山崎 その（同志社大学大学院） *伊多波 良雄（非会員：同志社大学）

9:50-10:10 大学経営論の体系をめぐって

○塚原 修一（国立教育政策研究所）

10:10-10:50 各大学群における経営政策の意思決定モデル

○大山 篤之（ニッセイ基礎研究所） ○小原 一仁（玉川大学） 西原 理（大阪大学）

10:50-11:10 私立大学における経営戦略としての付属校設立

○上田 大作（創価大学）

11:10-11:30 制度の企業家という概念に基づく大学の戦略的経営に関する一考察

○平塚 力（京都文教大学）

11:30-12:00 総括討論

職業教育の質保証 ：非大学型セクターからのアプローチ

司会 吉本圭一(九州大学)、小方直幸(広島大学)

- 報告 1. 日本の非大学型セクターにおける職業教育と質保証 稲永由紀(筑波大学)
2. 韓国の専門大学教員と職業的レリバンスから 渡辺達雄(金沢大学)
3. 豪州の学位・資格枠組みとTAFEの職業教育から 杉本和弘(鹿児島大学)

討論者 橋本鉦市(東京大学)

本年度の課題研究は、理事会での指定課題を学会員有志が共同での探究し、その成果を発表するという新しいスタイルで編成したものであり、テーマは平成20・21年度の課題研究「高等職業教育」の発展として「職業教育の質保証」をとりあげる。先の課題研究では、高等職業教育の目的・方法・統制の特質を検討し、特に「学位・資格枠組み」による統制がその質保証の有力な方法論として提起された。いま国際的な「学位・資格枠組み」への取組が広がり、わが国でも中央教育審議会等で議論され始めているが、まだ具体イメージを共有する段階にはいたっていない。そこで、本年度は、「学位・資格枠組み」を軸とする職業教育の質保証のあり方、実態について、大学セクターとは異なる統制が求められる非大学型セクターに焦点をあてて、その理論的な整理を行うとともに、海外の具体的な展開事例を通して比較考察をおこないたい。

第一報告として、稲永由紀氏(筑波大学)が、本課題の職業教育の質保証に関わる学校関係者と経済界・雇用関係者との関わりとその近年の変化、特にステークホルダー・アプローチの理論枠組みを提示し、日本の非大学型セクターにおいてどのように職業教育の質保証アプローチがなされているのか、またそれらが学位・資格枠組みに展開していく可能性を有しているのかどうかを論じる。これらは、大学セクターが職業教育を担おうとした場合の、質保証における学位・資格枠組みの可能性と必要性の議論に繋がっていくものである。

第二報告では、渡辺達雄氏(金沢大学)が、職業教育の方法/デリバリーにおける重要な要素である教員に焦点をあてて日韓比較を行う。特に、韓国高等教育に大きな比重を持つ専門大学における教員の特質(その制度的な資格要件と実態、教員のエートス)を論じ、日本の非大学型セクターにおける教員のあり方と比較する。こうした点に着目すれば、大学セクターにおける伝統的なアカデミックプロフェッションとは異なる教員の増加についても議論が可能になるであろう。

第三報告では、杉本和弘氏(鹿児島大学)が、職業教育の質保証のための学位・資格枠組みの先進地域としての豪州をとりあげ、非大学型セクターTAFEの職業教育の統制の仕方を論じ、日本の非大学型セクターにおけるプログラム作成の手順、関係者の統制のあり方との比較を行う。さらに、この学位・資格枠組みは近年大学セクターを巻き込む新たな展開をみせており、学習成果アプローチにおける基幹的要素としての学位・資格枠組みの議論が期待される。

その後、橋本鉦市氏(東京大学)が、部会のディスカサントとして議論を提起する。

教育改善にむけてのデータの開発：IRと学生調査

司 会と趣旨説明 山田 礼子(同志社大学)

- 報告1. 大学組織研究における個の多様性への接近 —京都大学工学部・授業/学生調査の経験から 大塚 雄作(京都大学)
2. 一橋大学における教育改善と学生調査 朴澤 泰男(一橋大学)
3. 学生調査を活かしての教育改善 細川 武(埼玉県立大学)

討論者 濱中 淳子(大学入試センター)

平成20年12月24日に公表された中央教育審議会答申「学士課程教育の構築に向けて」において指摘されているように、今後は各大学が自らの教育理念と目標に基づき、学生の成長を実現する学習の場として学士課程を充実させることが強く求められている。

上記答申が提起する最重要課題は、第3章「学士課程教育における方針の明確化」で詳述されている。「学位授与」「課程編成・実施」「入学者受入れ」に関する「3つの方針」は個別大学の個性・特色を反映し、大学ごとにこれを策定するべきであるが、一方で学生に対する教育効果と学生の学習成果を測定し、学生の教育成果の測定、改善の過程を多くの大学が共有し、より良い教育環境を提供し、教育方法等を開発していくことは、高等教育全般の質の向上のためにも重要である。高等教育の質の向上のために、GPA制度、CAP制の導入、単位の実質化等の方策がすでに多くの大学で実施されているが、そうした方策を十分に機能させ、質保証を推進するためには、IR(機関研究)と呼ばれる機能の開発が有効である。現在、各大学がシラバス、GPA制度、CAP制等を導入してきた段階から、具体的な大学におけるデータをベースに教育改善へと結びつけていくIR機能を充実させ、データ分析結果を単位の実質化、学生の学習時間の確保に結びつける教育環境の整備の段階へと動いている。現在、教育環境に焦点をあてたIRを充実していくための、間接評価として標準調査が開発されてきている。標準学生調査分析結果および収集データをもとに、各機関は、学生の学習時間、学習状況、ラーニング・アウトカムの自己評価、教育方法、教育課程への満足度等を参照しながら、自己点検・評価そして教育改善へとつなげることで、そしてこうした教育面におけるIRが機能すれば、各々の「学位授与の方針」、「課程編成・実施の方針」、「入学者受入れの方針」の明確化へとつなげることも可能である。

2年間にわたっての本課題研究は、一年目にあたる2010年は大学に於けるデータの開発という大きな命題のなかで、IRの機能を充実させる可能性のある教育に特化したデータ開発に焦点を置きながら、標準調査として開発されている学生調査を機関としてどう使うか、あるいは使用しているか、そしてその検討課題について利用者側の立場からの報告に焦点を当てたい。特に、個別大学でどのように標準調査を活用したいか(ニーズ)、使ってみて有益だった点、逆にうまく使えなくて困っている点など、現場感覚に合った報告にしたい。2年目は若手の委員を中心に、現場のニーズに対応できるような標準調査の開発と測定、課題の克服をどうするかを理論的かつデータ分析を中心にした課題研究とする。

公開シンポジウム 5月30日(日) 13:40-16:20

301教室

高等教育の多様化と質保証：設置審査・認証評価・参照基準

司会 吉田 文(早稲田大学)

1. 設置審査と認証評価からみた質保証の現状と課題

濱名 篤(関西国際大学)

2. 専門教育の分野別質保証の可能性と課題

早田 幸政(大阪大学)

3. 分野別参照基準と質保証の仕組み

北原 和夫(国際基督教大学)

指定討論者 天野 郁夫(東京大学名誉教授)

高等教育のグローバル化とユニバーサル化が進行するという状況の中で、2008年12月の中教審「学士課程教育」答申が出され1年が経ち、教育の質保証の必要性について、日本の大学も現実の課題として取組を始めつつある。

大学院設置基準は2007年に、大学設置基準は2008年にそれぞれ改正され、「人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を学則等に定め、公表すること」を研究科、学部、学科あるいは課程ごとに求めている。また、政令で定める期間のうちに(7年に1度)認証評価機関の機関別認証評価を受けることが学校教育法第109条に規定されている。

機関別認証評価は、2010年に第1段階の最終年を迎えようとしており、ユニバーサル化の進行が続く中で、定員割れ等による経営困難大学の出現も含め、7年間に認証評価を受けられない大学も出現しつつある。また、機関別認証評価の第2サイクルに向けて、それぞれの認証評価機関の基準見直しも進みつつある。そういう意味では、機関単位での質保証の仕組みがどのように機能しているのかを検証する時期であるといってもよい。

他方、専門分野別の質保証については、専門職大学院については、認証評価制度がすでにスタートしており、ロースクールや会計専門職専門職大学院の認証評価が始まり、ファッション、公共政策、教職など新たな専門分野での認証評価機関が生まれつつあるが、学士課程教育については全くといっていいほど見通しは立っていない。学士課程教育の専門分野別認証評価については、大学基準協会が参入しない方針を決めている。同じ名称の学部・学科であっても教育内容の多様化が極端に進んでしまった現状で、専門分野別の質保証を行っていくことができるのであろうか。日本学術会議が検討してきた分野別参照基準の報告がまとめられつつあるが、こうした動きが専門分野別の質保証にどのような影響をもたらすのであろうか。

多様化しすぎた学士課程の認証評価(機関別、分野別)の質保証のシステムを、どのように構築していくかということは、今後の日本の高等教育における最大の課題であるといえよう。

本シンポジウムでは、高等教育の多様化が進む中で、機能分化も並行して進められるという現在の状況で、これまでの画一的な質保証(設置基準と認証評価)の仕組みで質保証をし続けていくことができるのか、という課題について論じていく。会員各位の現実的関心とのすりあわせをしつつ、日本の高等教育にとっての、今後の質保証の在り方を考えたい。

日本高等教育学会第13回大会プログラム

発行日：2010年4月13日

発行者：日本高等教育学会第13回大会実行委員会

大会実行委員会

委員長

濱名 陽子 (関西国際大学)

委員

濱名 篤 (関西国際大学)

佐藤 広志 (関西国際大学)

陳 那森 (関西国際大学)

井上 義和 (関西国際大学)

飯島 有美子 (関西国際大学)

吉田 武大 (関西国際大学)

児玉 英明 (関西国際大学)

篠山 貴之 (関西国際大学)

川嶋 太津夫 (神戸大学)

山田 礼子 (同志社大学)

山内 乾史 (神戸大学)

吉原 恵子 (兵庫大学)

間瀬 泰尚 (神戸親和女子大学)

日本高等教育学会 第13回大会実行委員会

〒661-0976 尼崎市潮江1-3-23

関西国際大学教育学部 吉田武大研究室 内

E-mail : jaher2010-junbi@kuins.ac.jp

URL : <http://www.kuins.ac.jp/kuinsHP/jaher2010/>

TEL : 06-6496-4183 (吉田武大 研究室)

FAX : 06-6498-4748 (尼崎キャンパス代表)